

池上線

【詞】佐藤 順英
【曲】西島 三重子

古い電車のドアのそば
二人は黙って立っていた
話す言葉をさがしながら

すきま風に震えて

□□

いくつ駅を過ぎたのか

忘れてあなたに聞いたのに

じっと私を見つめながら

ごめんねなんて言っただわ

泣いては ダメだと 胸にきかせて

白いハンカチを 握りしめたの

池上線が走る町に

あなたは二度と来ないのね

池上線に揺られながら 今日も帰る私なの

終電時刻を確かめて

あなたは私と 駅を出た

角のフルーツショップだけが

灯りともす夜更けに

商店街を通り抜け 踏切渡った時だわね

待っていますとつぶやいたら

突然抱いてくれたわ

あとから あとから 涙あふれて

後ろ姿さえ 見えなかったの

池上線が走る町に

あなたは二度と来ないのね

池上線に揺られながら 今日も帰る私なの

池上線

【詞】佐藤 順英
【曲】西島 三重子



1.

古い電車のドアのそば
二人は黙って立っていた
話す言葉をさがしながら
すきま風に震えて

いくつ駅を過ぎたのか
忘れてあなたに聞いたのに
じっと私を見つめながら
ごめんねなんて言ったわ
泣いては ダメだと
胸にきかせて

白いハンカチを 握りしめたの
池上線が走る町に
あなたは二度と来ないのね
池上線に揺られながら
今日も帰る私なの

池上線

【詞】佐藤 順英
【曲】西島 三重子

2.

■ ■
終電時刻を確かめて

あなたは私と 駅を出た

角のフルーツショップだけが

灯りともす夜更けに

商店街を通り抜け

踏切渡った時だわね

待っていますとつぶやいたら

突然抱いてくれたわ

あとから あとから 涙あふれて

後ろ姿さえ 見えなかったの

池上線が走る町に

あなたは二度と来ないのね

池上線に揺られながら

今日も帰る私なの